

春風の便り

02
VOL

こんにちは、
はるた けいしです。
「人と地域が輝く社会づくり」に、
青年らしく颯爽と、
また全力で取り組みます。

対話

平成20年の抱負・目標 の最前線から 生活重視 の政策を!



左／青年と一緒に未来を拓く対話を
右／地域の要望を実現!喜びの報告



市議会議員として始めての新年を迎えました。
多くの皆様に支えられて、議員として働かせていただいております、感謝の毎日です。
そしてこれまでに126件もの市民相談や多くのご提案をいただき、ひとつひとつ経験を重ねさせていただいております。その毎日の対話の中から、今、生活の現場では何が求められているのか、問題は何かのを見極める力を、そして対応能力を磨かせていただいております。

生活者の味方となり 信頼を!

昨年を象徴する言葉として「偽」が選ばれ、特に政治に対する不信は益々大きくなっていると感じます。合意形成を担う政治の場にあつては、「信頼」が何より大切であると思います。だからこそ、私は「信頼」を得られる「生活者の味方」の議員になつて行きたい!と決意を固めた新年の出発となりました。

選挙の公約

春の選挙で皆さんにお約束し選挙公報に記載したことは、
一、次代を担う若い世代が地域自治に関われる場所を創る
二、リストラだけではなく選択と集中による行財政改革の徹底
三、公立教育の地域間格差をなくし質の向上を図る
四、地域と学校が行う「放課後・土曜子供プラン」の拡充
五、大胆な就労支援で誰もが働ける地域の構築
六、NPO活動を支援し、不足する地域サービスをサポート
の六項目でした。
六月と先の十二月の一般質問と毎日の調査活動で、着実に約束を果たすための努力を続けて参りました。更に、これからも推し進めて参ります。

ともかく、ムダゼロ!

中小企業も家計も二円を削る、搾り出すためには弛まない努力を続けています。それなのに何故、市民から預かった大きなお金は簡単に使い切ることとするのだろうか? 不思議でたまいません。そして単に削るだけではなく、努力によって生み出した資金を、生活重視の政策を実現

地域コミュニティ

春田が今、一番注目し力を入れて行きたいと考えているのが「地域コミュニティの育成」です。先ず自分のできることは自分で行う(自助)、一人ではできないことを地域で助け合う(共助)、地域だけではできないことを行政が行う(公助)という理念の下、「人と地域が輝く社会作り」を推し進めて問題解決を図って参ります。

歴史上、 行革には才覚が

西鶴商法によれば行革は①始末(節約)②算用(財政)③才覚(不況の際に拡大再生産をする知恵や努力)が必要であるとされています。上杉鷹山などの先人が示したこの「産業振興」への取り組みこそ今、新生高松市が踏みしめて取り組まなければならない事項と考えています。

新しい気持ちで、決戦の年を「師子奮迅」の力を出しきり、現場に徹する、徹して動く、生活に徹する、そして政策実現に執念を持って参ることを皆様にお誓いします。



二回目 の一般質問

今回の一般質問は、議員になり約半年を過ぎて、少しずつ育ち行く「関心の芽」をコツコツと伸ばし、調査・検討を重ね、質問を創りました。その一部の要旨と想いを掲載します。

主な質問項目 (2007.12.14)

1 第4次高松市 行財政改革計画について

- (1) 支所施設の有効利用
- (2) 情報化の推進、オープンソースの活用
- 2 地域コミュニティの育成について
 - (1) 地域コミュニティを支える人材育成の専門講座の充実
 - (2) (仮称)コミュニティ・マネージャー活用制度の創設
 - (3) 市民活動促進条例の制定
 - (4) 香川県のNPO支援基金との連動
 - (5) 市民活動を支える資金

3 地域における防災・防犯活動について

- (1) 防災・防犯マップづくりへの補助
- (2) 防災リーダー制度の拡充

4 産業振興に対する所見と、 広域拠点あり方検討委員会の 中間報告書への考えについて

5 学校教育について

- (1) 全国学力テストの学校間・クラス間格差と本市の取り組み
- (2) 特色ある学校づくり

6 保育所に看護師を配置・ 派遣する制度について

*全文は、高松市議会のホームページで見ることができます。
<http://discuss.city.takamatsu.kagawa.jp/disc/>

Q1 支所施設の有効利用 について

合併支所を訪ねたときに、ガランとした印象を受け、「もったいない」「もつと有効に活用する方法はないか」と思い調査をしました。

また、少子高齢化社会に対応した、これからの高松市の街づくりのあり方を検討している「都市計画マスタープラン」の説明を受け、富山市が進めている「コンパクトシティ構想」

を視察したり、講演会に参加したり、資料を手に入れて調査をしました。

すると、現在検討されている合併支所の空きスペースの有効活用については、市役所業務の範疇だけで利用しようとしているようなので、もつと大きな視点での公共財産の活用をして欲しいとの想いで質問をしました。

都市計画マスタープランの考え方

散漫な開発によって、
市全体が郊外化するのではなく…

Q2 情報化の推進、 オープンソース の活用について

先輩議員から、「情報化の費用は高いのか安いのか分かり難い」との話になり、どうすれば費用の軽減ができるのか？と調査を始め、栃木県二宮町での先進事例などを調べ、質問として採りあげました。

特定の企業に依存しないオープンソースを活用すれば多額の費用を抑えられ、その分住民サービスに回せないのかとの想いで質問をしました。

【質問】

二宮町の事業と同じくオープンソース・ソフトウェア活用を推進し進められれば、パソコンの仕様の低減やソフトウェアのライセンス取得削減によりどのくらいのコストを削減できるのか？。コスト削減の視点、更に地域の情報・産業育成の観点から、情報化推進計画にこのオープンソース・ソフトウェアの積極的活用を盛り込むべきだ。

効率的な
情報化とは..



【回答】

高松市では約二九〇〇台のパソコンを導入しており、試算では年間六千万円程度、賃借料の減少が見込まれるが、不具合が生じた場合の保守費用など新たに多額の費用が必要になることから、一概にコスト削減につながらない。今後、活用方法については、技術の進展や普及状況も見極めながら、情報化推進計画策定の中で検討して参りたい。



削減につながるという回答でしたが、根拠が明確ではありません。私の試算ではもつと削減できるはずですが、できない理由、困難である理由を探すのではなく、どうすれば効果を上げられるのか、市民のお役に立つのかをもつと真剣に考えるべきだと感じました。二宮町の事例などをもう一度調査して、必ずコスト削減につなげて参ります。

【質問】

合併支所の空きスペースをNPO活動や民間事業者等が広く活用できるようにしては？。また、活用方法の検討は都市計画マスタープランとの連動を行い検討が行われるべきだが？

【回答】

市民と行政による協働のまちづくりを積極的に推進するため、市民と行政のコミュニケーションの場、NPOや地域団体が交流したり、簡易なミーティングができる場として「協働スペース(仮称)」を設置することにした。
都市計画マスタープランとの連携にも意を用いてまいりたい。



Q3 地域コミュニティの育成について

これは、まだ候補者として活動している時「春ちゃん、公民館の名前が変わったのは知っているか？どんな意味があると思う？それは行政の財政が足りないことから、地域のことは地域の人みんなで、労力やお金を持ち寄ってやれ！」ということなんだぞー」と聞かされ、それ以来大きな課題として抱えているテーマです。

十月に「分権時代の都市とひと、地域力・市民力」と題して開催された全国都市問題会議に参加し、勉強をさせていただいたことや、十一月に札幌市での、「市民活動促進条例の制定の過程」や「寄附文化の醸成」を視察した事柄を基に、質問いたしました。

【質問】

本市において実施している「協働のまちづくり推進人材養成講座」を、地域の大学やNPOなどの団体と連携し、さらなる充実を図っては？。そして、講座を終了し能力を身につけた方を「コミュニティ・マネージャー」と認定し、アドバイザーとして派遣したり、次の世代を担う人材を育成する役割を担っていただいたり、自身の地域「コミュニティ」や市民活動の場で活躍できる仕組みとして創設してほしい。

【回答】

人材養成は重要な課題と認識している。今後とも更に効果的な人材育成事業に取り組んでいきたい。コミュニティ・マネージャー制度の創設は、人材育成事業を効果的に展開する中で研究してまいりたい。

重要な資金についての問題は、香川県が今年度の春からNPO支援のための基金制度（基金を募り市民活動に提供できる仕組み）を創設するので、その内容を注視していき活用できるようにしたいと考えています。また、地域コミュニティ活動を創っていくためのきっかけ作りとして、「防災・防犯マップづくり」は、とても有効であると思います。市としても「まちづくり交付金」を有効に活用して欲しいとのことでした。

優秀な地域人材の育成



Q4 学校教育について

小学校・中学校に通われている生徒の保護者から、学校間や担任教師における教育の質に格差があると、よく相談を受けます。教育は誰にも平等に与えられた最大の権利であり、未来の高松を担う最重要な事業であると考えます。選挙の公約でも公立学校の教育の質を向上させ、塾に依存しない教育を行うことを約束してまいりました。

今回、全国学力テストが行われたことをきっかけに、現状を明らかにしたいと考えました。

九月には金沢市で行われている「学校教育金沢モデル」の推進状況を視察し、「どんな人を育てたいのか」というヴィジョンを明確に持っていることに感銘を受けました。これから教育改革を推し進める第一歩として、質問を開始しました。

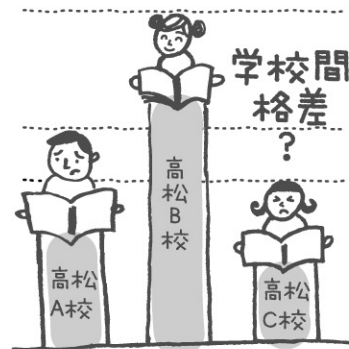
【質問】

先の全国学力・学習状況調査における学校間格差、クラス間格差はあったのか？。その対応はどうあるのか？

【回答】

学校間、クラス間の差が見られる。しかし、今回の調査は学力のうち特定の部分を把握するものであり、その結果をとおしてこれまでの授業の成果や課題を明確にし、今後の改善に生かすことが重要である。それぞれの学校における学習指導や生活指導等の改善に活用するよう指導する。

子供たちの一年、学習の基礎を築く上での一年は、あまりにも貴重なときです。改善をゆつくりしていったのでは、とを逃してしまいます。差があるならもつと、逼迫して早急に対応を行う必要があるのではないかと、憤りを感じました。また金沢市では、英語教育についても、中学校を卒業時に、英検三級の合格者を8割にし、国際社会で活躍できる人材を養成するという明確な目標と手段を講じていました。＊をやっていますではなく、明確なヴィジョンとそれを実現するための具体策をかけているのではないのでしょうか。これからしっかりと根を張って調査をして行きます。



日	内 容
9月3日	建設水道常任委員会「コミュニティバスについて」出席
6日	第4回高松市議会 開会(21日まで)
16日	日弁連主催「街づくりセミナー」参加
18日	高松城跡特別委員会 出席
19日	建設水道常任委員会 出席
20日	都市計画マスタープラン・全体構想(案)の説明を受ける
23日	マチspiritトキワ街を視察
25日	高松市美術館 視察・調査
27日	金沢市「金沢21世紀美術館・学校教育金沢モデル」視察
28日	富山市「コンパクトシティ・LRT」の視察
10月2日	経営無料相談 勤務
7日	太田南っ子カーニバル2007 参加
	ワークプラザ・たんぽぽ「地域ふれあいの日」参加
11日	第69回全国都市問題会議(静岡)参加(12日まで)
13日	前我孫子市長「福島浩彦氏講演会」参加
14日	第12回高松市青少年健全育成フォーラム 出席
15日	全国市議会議長会研究フォーラム(熊本)参加(16日まで)
19日	平成20年度 予算要望のとりまとめ
21日	高松市仏生山公園・高松秋祭り 参加
26日	香川県市議会議長会議員研修会「高野孟氏講演」出席
28日	小豆島オリブ収穫祭 参加
11月6日	経営無料相談 勤務
8日	「まち、うみ、未来を結ぶ公共交通」セミナー 参加
10日	瀬戸内海クルーズ協会「サンセットクルーズ体験」参加
12日	高松市議会議員研修会／講師 永田潤子氏 参加
13日	高松市子供議会 傍聴
15日	建設水道常任委員会 丸亀町B・C街区の建設計画説明
20日	札幌市「市民活動促進条例・学校開放・総合計画」視察
21日	帯広市「事業評価・政策評価」視察
22日	建設水道常任委員会 参加
26日	市長への予算要望提出
27日	かがわ若者サポートステーション 視察
30日	建設水道常任委員会 樺川ダム視察
12月1日	公明党 全国青年局長会議 出席
6日	第5回高松市議会 開会(20日まで)
9日	青年との懇談会 開催
14日	一般質問
15日	過疎地域実態調査 塩江町
18日	建設水道常任委員会 出席
21日	原油高対策を市長へ要望書提出
26日	経営無料相談 勤務

●市民相談件数 44件 ●相談累計 126件

★日々の活動は「春田のブログ」
<http://haruta.ptu.jp/blog> をご覧ください。

活動実績

皆さんからの要望が形になりました。



寺井町・道路の修繕

党員のFさんから「雨が降ると一面水溜りになり通れなくなる」との声を受け道路の修繕を行いました。



太田下町・街灯の新設

党員のMさんから「夜になると交差点が暗く、細い道から大きな通りに出るとき危ない」と地域の要望をつないでいただき街灯を新設いたしました。



八坂町・道路側溝の整備

「大雨になるとお店の前が水浸しで困っている」と聞きつけ、道路の側溝が機能を果たしていないことから整備をしました。



高齢者・身体障害者緊急通報装置の貸与

太田県営団地にお住まいのおばあちゃん達と対話している時、「体調が悪くなったとき一人暮らしで不安である」との相談を受け、ボタンひとつで救急隊とご親族の方に知らせることができる「緊急通報装置」の貸与を行いました。親族の方にも喜ばれました。今までに6件の貸与ができました。

◎相談やお気づきの点がありましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。党員に限らず、どなたでも結構です。

春一番！

編集後記

正月にテレビ番組の特集「古代ローマ1000年史」を見ました。1200年もの永きにわたり繁栄を築いた世界国家がどのように誕生し変遷していったのか、そこに関わる人間が織り成す、人間模様に大いに惹かれ見入ってしまいました。いつの世も、変革をもたらすものは青年の熱と力であることを改めて認識しました。そして掲げた理想はその時に成就しなくても後に必ず人が着いてくるのだと勇気をもらいました。大好きな映画の「ブレイブハート」や最近見た「300(スリーハンドレッド)」も同様でした。そしてその英雄の影には、必ず自分のエゴに囚われた醜い姿の人がいることも…。

議員になって20年後30年後の高松市の姿に思いを馳せていると、頭の中がモンモンとしてちょっぴり不眠症になっています。今こそ「できることから」一歩づつ踏み出したいと再決意しています。



春田敬司 はるたけいし

昭和42年2月23日、兵庫県神戸市生まれ。国立高松工業高等専門学校機械工学科卒。(有)ジャストブレイン代表取締役(経営コンサルタント)。平成19年4月高松市議会議員初当選。座右の銘は「為せば成る」。

会計報告 政務調査費

2007年5月～12月

費 目	金 額
1 研究研修費	108,984
2 調査旅費	164,450
3 資料作成費	23,275
4 資料購入費	51,731
5 広報費	183,233
6 広聴費	0
7 人件費	0
8 事務所費	94,424
9 その他	0
合 計	626,097円

高松市では、議員ひとり1ヶ月100,000円の政務調査費が予算化されており、年2回に分けて前払いされます。期末に議会事務局へ領収書(控入)を添付した報告書の提出により、額が決定され清算されます。

※春田は議員活動費、政務調査費の領収書は全て公開いたします。



NEW KOMETO
公明党

「春風の便り」 第2号

●発行者:高松市議会議員 春田敬司

●発行日:2008年1月(年4回発行予定)

●連絡先:〒761-8013 高松市香西東町14番地8

TEL087-842-5730